

災害につよい支え合いの活動



【笠東学区】

■世帯数：3,033 世帯

■人 口：7,287 人

■面 積：0.739k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 将来予想される巨大地震・津波被害に備え、学区全体で避難訓練を実施した。参加者は約 490 人。
- ・ 津波避難指定ビルは「笠東小学校」だが、避難場所を「見晴台（笠寺公園）」に設定した。参加者各自が、自宅から避難場所までの時間・経路に潜む危険などを確認しながら集結した。
- ・ 訓練を前に、民生委員と各町公民会長が高齢者宅を訪問し、聞き取り調査による「防災調査票」を作成した。

【住民へのPR方法】

チラシの各戸配布、回覧

2 きっかけ、背景

高齢化が進み、災害時に自力では避難できない世帯が増えてきた。住民からの情報もなかなか集まりにくい（町内会未加入世帯）ので、防災訓練と事前の聞き取り調査を行うことにより、情報共有、防災意識の啓発、高齢者世帯への支援を行う事とした。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

各町内の自主防災会会長、各種団体長など 計約 25 人

(2) 他団体との協力

笠東ボランティアネット

(3) 運営協力

町内毎に新たにリーダーを指名して主体的なつながりを作っている。

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・住民間の交流が深まった。
- ・問題点、課題対応の確認ができた。

(2) 今後の課題・展望

- ・防災意識をさらに高める重要性（訓練を重ねる）。
- ・家庭・地域との連携が大切、協力を図る。
- ・要援護者（傷病者・独居高齢者）への支援方法。
- ・町内会の未加入世帯の取組方法。

4 実施のスケジュール

H24 年 新役員による組織作り、新計画と勉強会
4 月



5 月 民生委員と各公民会長による高齢者宅の訪問、聞き取り調査



5～6 各町内別自主防災訓練の実施
月 小学校屋上避難ビルの指定で学区役員で避難訓練
津波避難訓練のチラシ回覧



7 月 津波避難訓練の実施



8 月 防災調査票の作成、確認、反省会の実施



H25 年 各部署からの要望、改善、懇親会の開催
3 月

笠東学区 津波避難訓練

訓練日時
7月8日（日）午前9時
放送午前9時05分
避難場所：見晴台
各町内の旗の下



内容については別紙「笠東学区津波訓練について」の文書に準じます
当日は無理することのないように充分気をつけて個々の避難経路を確認しましょう
芝町東西公民会